

# (1) 大分地区

## ■ 地区と緑の概況

- ・ 大分地区は大分市の北西部に位置し、市の玄関口となる大分駅を中心に官公庁等の中心市街地が広がっており、日常的に多くの人々が訪れる場所ともなっています。また、駅南側では、「大分駅南土地区画整理事業」が進められています。
- ・ 地区の西側では高崎山自然公園や柞原八幡宮など貴重な自然環境が残され、市街地中心部を大分川が南北に流れているほか、市街地に隣接して緑豊かな上野丘の丘陵地があります。しかし、市街地中心部は緑が少ない状況となっています。

## ■ 地区の課題

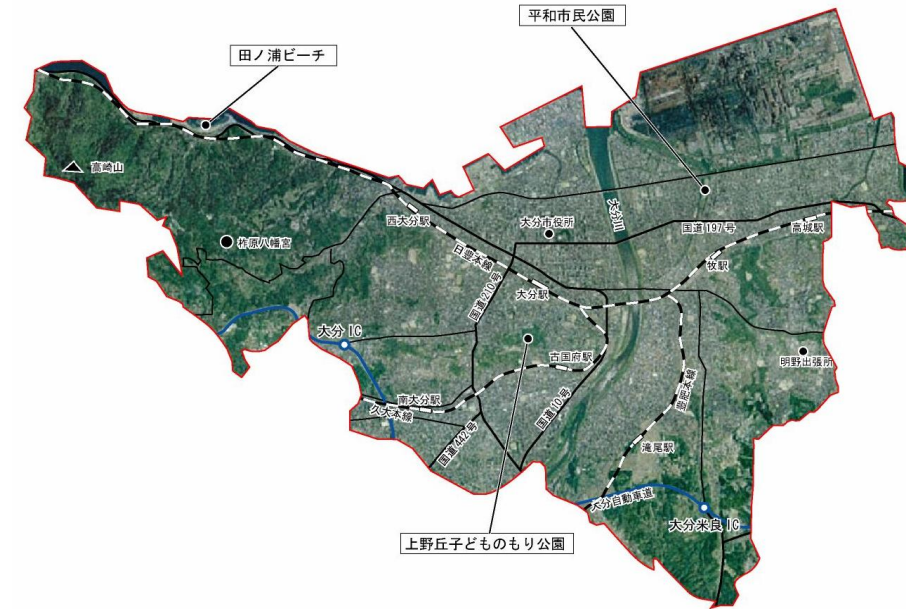
- ・ 市街地を中心に、ヒートアイランド現象が確認されており、温暖化防止に向けた対策が必要となっています。
- ・ 市街化区域の緑被率は 22.3%と少ない状況にありますが、さらに緑化重点地区では約9%程度しかなく、特に緑化が必要となっています。
- ・ 高崎山周辺から上野が丘周辺にかけて、緑豊かな山地、丘陵地があり、その保全が必要となっています。
- ・ 市民の緑に対する意識調査では、緑が少ないと感じている人が他の地区に比べ多くみられます。
- ・ 緑の保全について、積極的に行い、むしろ増やしていくとした人が多くみられます。

## ■ 緑地の保全

- ・ 瀬戸内海国立公園にも指定されている高崎山周辺など、山地、丘陵地の緑や大分川の自然を守ります。
- ・ 柞原八幡宮から上野丘に続く丘陵地については、緑を守り、人と自然の共生を図ります。
- ・ 市街地の環境を守るため、公園・緑地などの維持・管理に努めます。

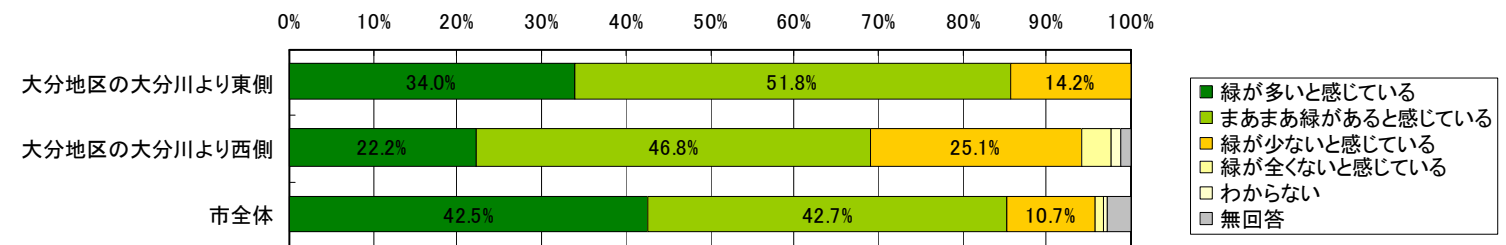
## ■ 緑化の推進

- ・ 市街地においては都市公園、街路樹など公共公益施設などの緑を創ります。
- ・ 緑化重点地区では、緑化に関する支援策などを活用し、市民や行政との協働により緑化を推進します。
- ・ 市街地や住宅団地などの民有地については、生垣緑化や敷地内緑化を推進していきます。
- ・ 元町の旧万寿寺跡周辺地区を歴史・文化・自然を活かした市民の活動拠点と位置づけ、併せて歴史的環境や景観等に配慮し大分川河川敷の整備を図ります。

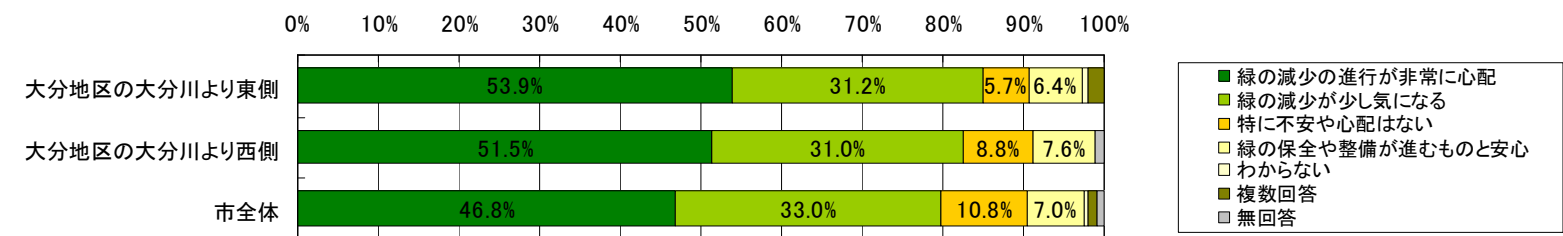


## ■ 市民の緑に対する意識調査

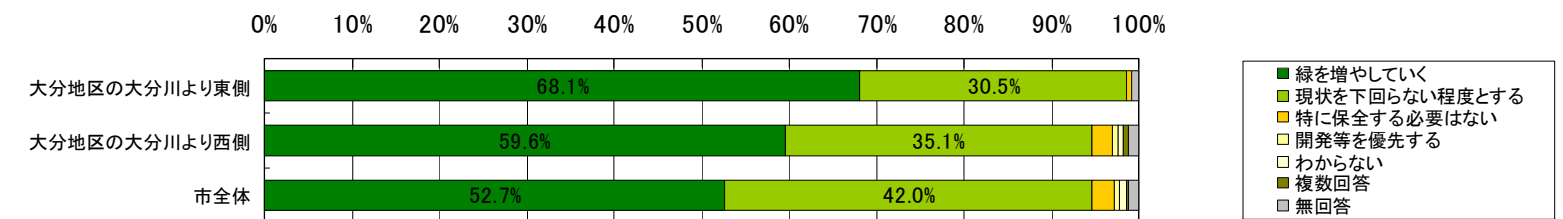
### 【周りの緑について】

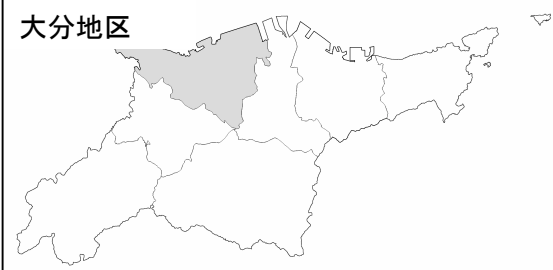


### 【緑の将来について】



### 【緑の保全について】





■ 高崎山から柞原八幡宮一帯の山地を緑地保全ゾーンとし、貴重な緑の保全を図ります。

■ 上野丘子どものもり公園(文化とのふれあい)と田ノ浦ビーチ(海の自然とのふれあい)、平和市民公園(文化とのふれあい)を地区の核となる公園と位置づけ、維持管理や機能拡充に努めます。

■ 街路樹等により幹線道路の緑化を図り、丘陵地の緑や河川と一体になった緑のネットワークを形成します。

■ 大分川の保全と河畔林の整備を行います。

■ 大規模住宅団地を緑化推進ゾーンと位置づけ、緑化を促進します。

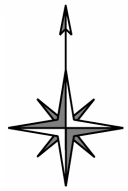
■ 既成市街地西側の丘陵地を共生ゾーンと位置づけ、緑を守り人と自然の共生を図ります。

■ 大分駅周辺を緑化重点地区と位置づけ緑化を推進します。

■ 旧万寿寺跡周辺地区を歴史・文化・自然を活かした市民の活動拠点とし、併せて大分川河川敷の緑化整備を図ります。



凡例	
	自然公園
	緑地保全ゾーン
	郷土の緑保全地区
	農地保全ゾーン
	河川
	共生ゾーン
	緑化推進ゾーン(住宅団地)
	緑化推進ゾーン(既成市街地)
	緑化重点地区
	都市公園【整備済】(総合公園・緑地等)
	都市公園【未整備】(総合公園・緑地等)
	都市公園(街区公園・地区公園等)
	地区の核となる公園
	街路樹などの整備・充実
	河川沿いの緑化及び緑地保全
	市街化区域



## (2) 鶴崎地区

### ■ 地区と緑の概況

- ・ 鶴崎地区の北部は副都心としての市街地が広がっているほか、臨海部には工業地帯が広がっています。
- ・ 地区の中心には大野川、乙津川が南北に流れ、その南部には優良な農地が広がっています。両河川の間の中地区には、河畔林の整備や水辺環境整備が進んでいます。
- ・ 地区西南部の大分スポーツ公園は、大分市全体の核となる公園として整備が進められています。

### ■ 地区の課題

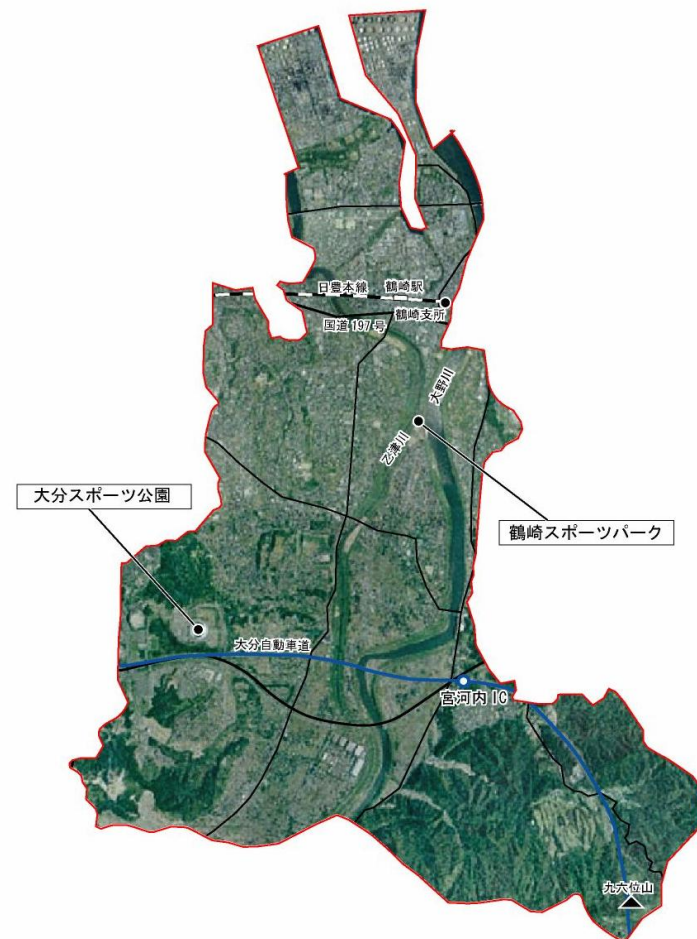
- ・ 高田輪中地区（鶴崎地区）では、水害に対する緑の役割が強く求められています。
- ・ 大野川及び乙津川河口付近の市街地ではヒートアイランド現象が確認されており、温暖化防止に向けた対策が必要となっています。
- ・ この地区は、急速に団地開発が行われ、地区内の緑が少なくなってきました。
- ・ 市民の緑に対する意識調査では、緑が少ないと感じている人が他の地区に比べやや多くみられます。

### ■ 緑地の保全

- ・ 大野川、乙津川の自然や九六位山に続く山地や丘陵地などの緑を守ります。
- ・ 大野川、乙津川沿いに広がる優良な農地の緑を守ります。
- ・ 市街地の環境を守るため、緩衝緑地などの維持・管理に努めます。

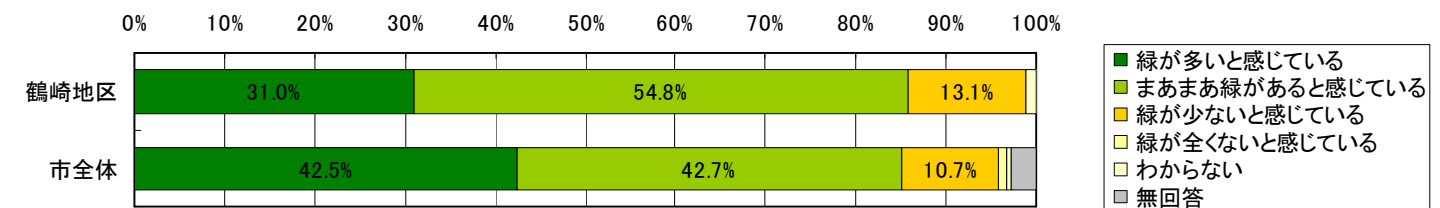
### ■ 緑化の推進

- ・ 市街地においては都市公園、街路樹など公共公益施設の緑を創ります。
- ・ 大分スポーツ公園を市全体の核となる公園と位置づけ、未整備区域の整備及び機能拡充を図ります。
- ・ 鶴崎スポーツパークを地区の核となる公園と位置づけ、機能拡充を図ります。
- ・ 高田輪中地区においては、関係機関とともに水害の軽減を目的とした河畔林の整備、また、ビオトープづくりなど市民と協働で取り組みます。
- ・ 史跡横尾貝塚においては歴史公園の整備を検討していきます。
- ・ 市街地や住宅団地などの民有地については、生垣緑化や敷地内緑化を推進していきます。

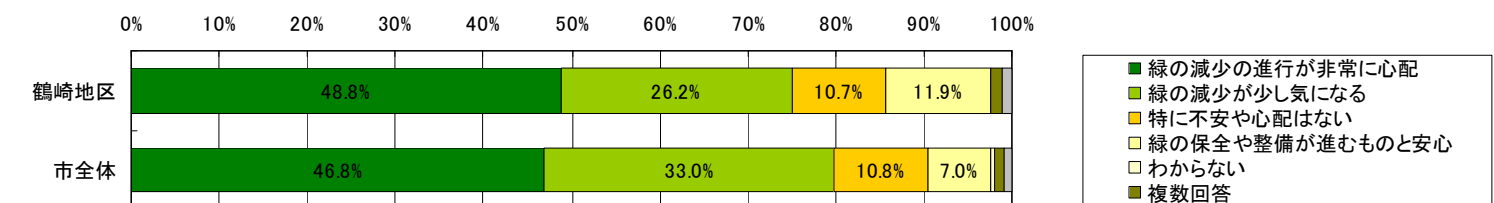


### ■ 市民の緑に対する意識調査

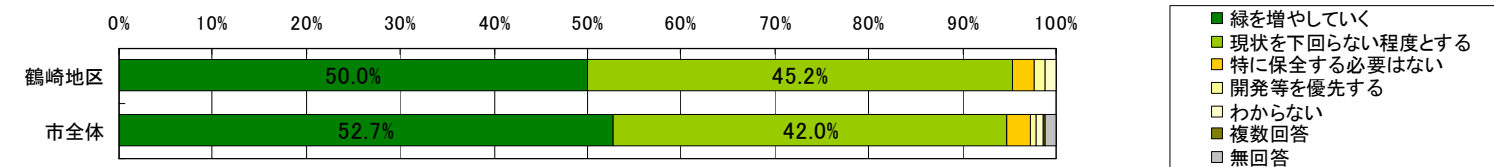
#### 【周りの緑について】

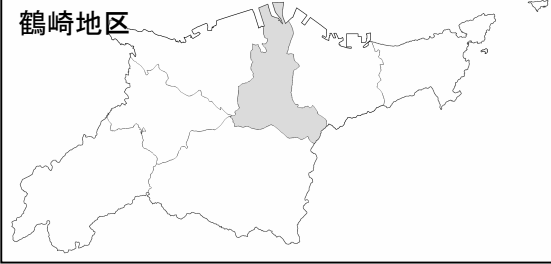


#### 【緑の将来について】



#### 【緑の保全について】





鶴崎地区

■ 街路樹等により幹線道路の緑化を図り、丘陵地の緑や河川と一体になった緑のネットワークを形成します。

■ 鶴崎スポーツパーク(水辺空間とのふれあい)を地区の核となる公園と位置づけ、公園機能の維持充実を図ります。

■ 高田輪中地区をはじめ、大野川、乙津川の保全や河畔林の整備を進めるとともに、河川空間の活用を図ります。

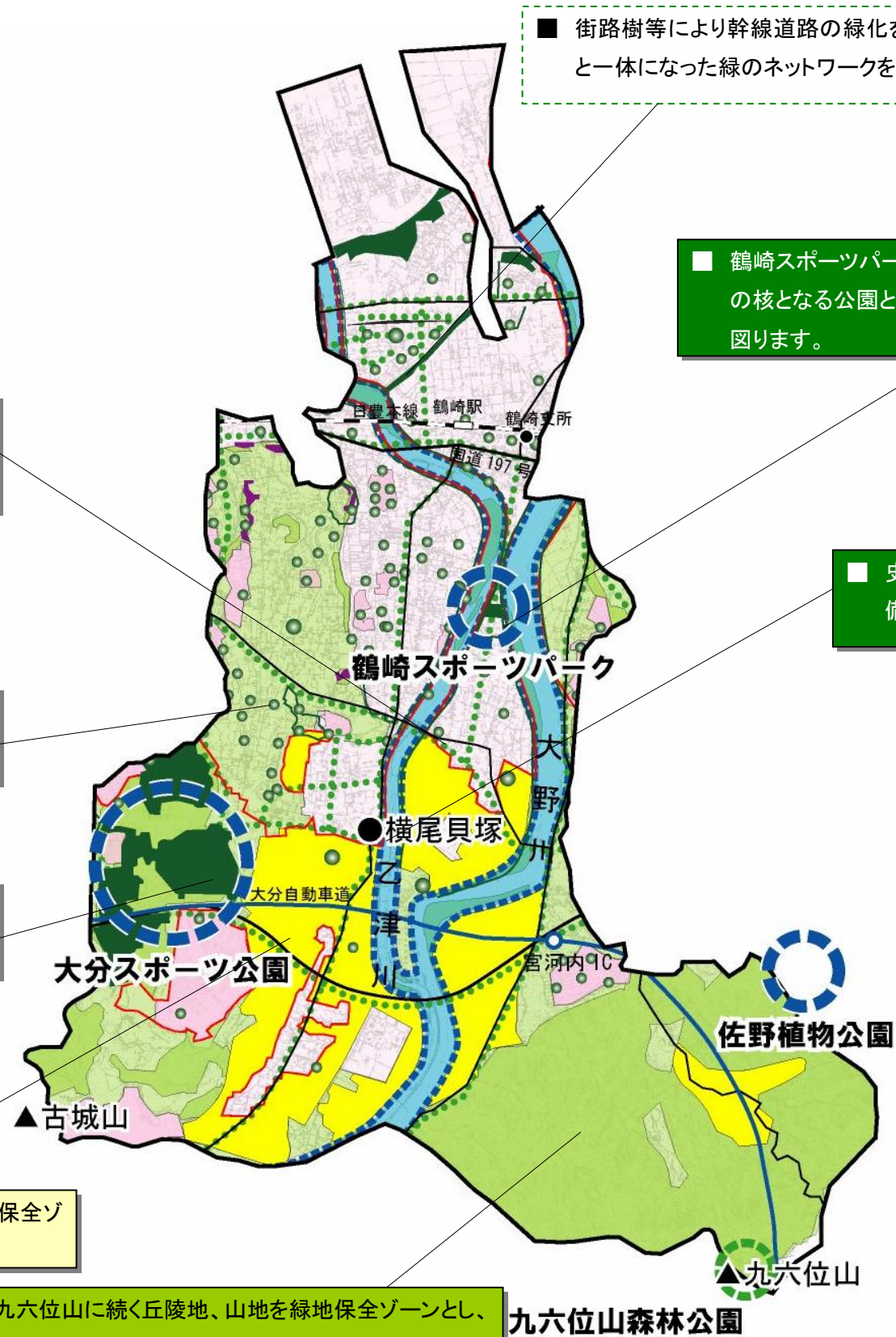
■ 史跡横尾貝塚を中心として歴史公園の整備計画を検討します。

■ 地区西側の丘陵地を共生ゾーンと位置づけ、人と自然の共生を図ります。

■ 大分スポーツ公園を市全体の核となる公園と位置づけ、公園機能の維持充実を図ります。

■ 大野川、乙津川沿いの農地を農地保全ゾーンと位置づけ保全を図ります。

■ 九六位山に続く丘陵地、山地を緑地保全ゾーンとし、貴重な緑の保全を図ります。



凡 例	
	緑地保全ゾーン
	郷土の緑保全地区
	農地保全ゾーン
	河川
	共生ゾーン
	緑化推進ゾーン(住宅団地)
	緑化推進ゾーン(既成市街地)
	都市公園【整備済】(総合公園・緑地等)
	都市公園【未整備】(総合公園・緑地等)
	都市公園(街区公園・地区公園等)
	地区の核となる公園
	街路樹などの整備・充実
	河川沿いの緑化及び緑地保全
	市街化区域



### (3) 大南地区

#### ■ 地区と緑の概況

- ・ 大南地区は大分市の南部に位置し、山地、丘陵地など豊かな緑に恵まれた地区で、大野川沿いにわずかに市街地が広がっています。
- ・ 地区の中心には大野川が流れ、その周辺には優良な農地が広がっています。
- ・ 地区全体的に自然環境が多く残る地区ですが、北部にはまとまった規模の住宅団地がみられます。

#### ■ 地区の課題

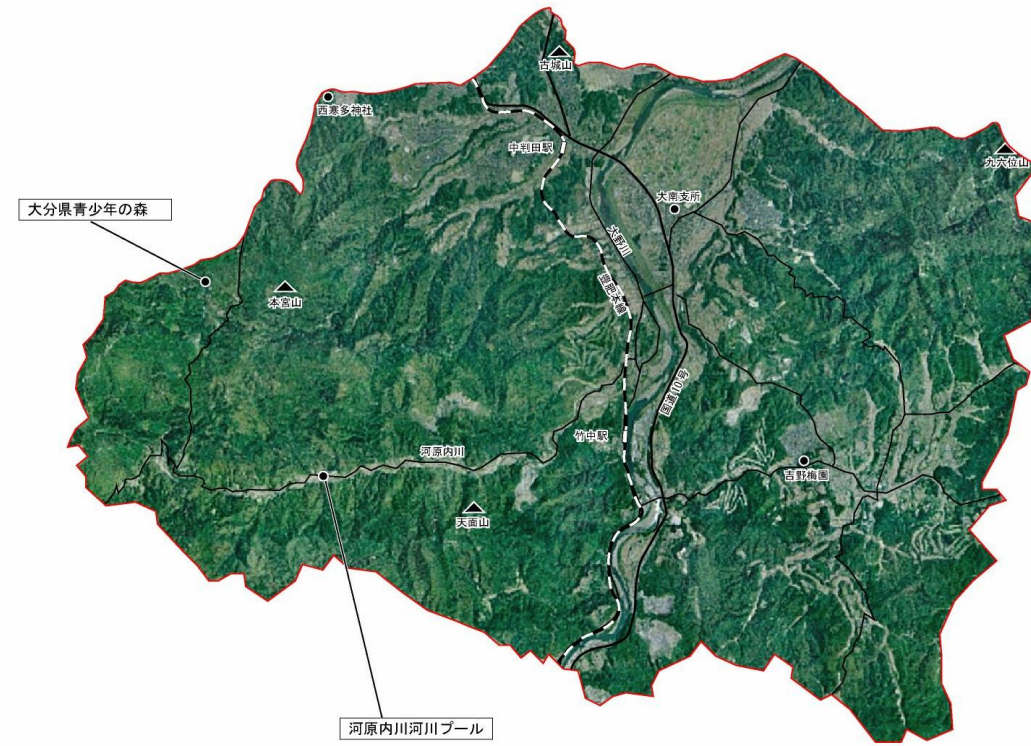
- ・ レクリエーション、防災等、地区の核となる公園がなく、今後、整備に向けた検討が必要となっています。
- ・ 本宮山、天面山等を中心に、緑豊かな山地、丘陵地があり、その保全が必要となっています。
- ・ 市民の緑に対する意識調査では、緑の将来について緑の減少が進むのではないかと心配する人が比較的多くみられます。

#### ■ 緑地の保全

- ・ 貴重な動植物の生息が確認されている本宮山や九六位山周辺の山地の緑を守ります。
- ・ 大分県青少年の森、河原内河川プールなど自然とふれあうことのできる緑を守ります。
- ・ 大野川両岸に広がる優良な農地の緑を守ります。

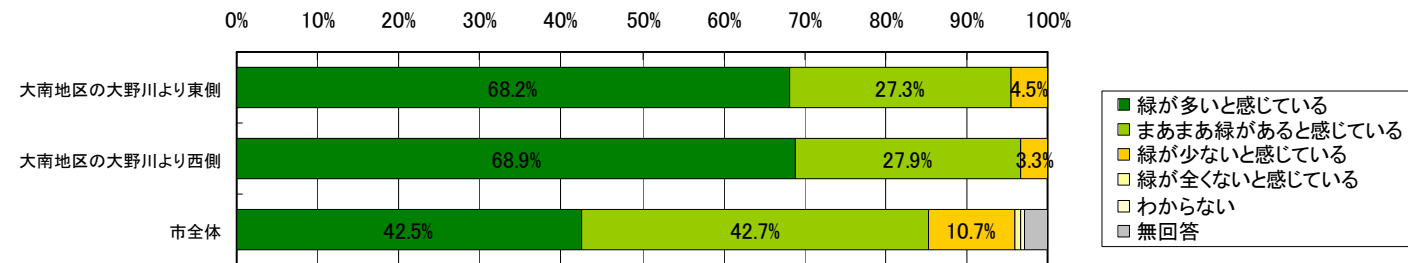
#### ■ 緑化の推進

- ・ 住宅団地や既存市街地においては都市公園、街路樹など公共公益施設の緑を創ります。
- ・ 市街地や住宅団地などの民有地については、生垣緑化や敷地内緑化を推進していきます。
- ・ 地区内に核となる公園がないことから、新たな公園・緑地の整備検討を進めます。
- ・ 市民農園等関係機関と協力し農業を体験学習できる場を創ります。

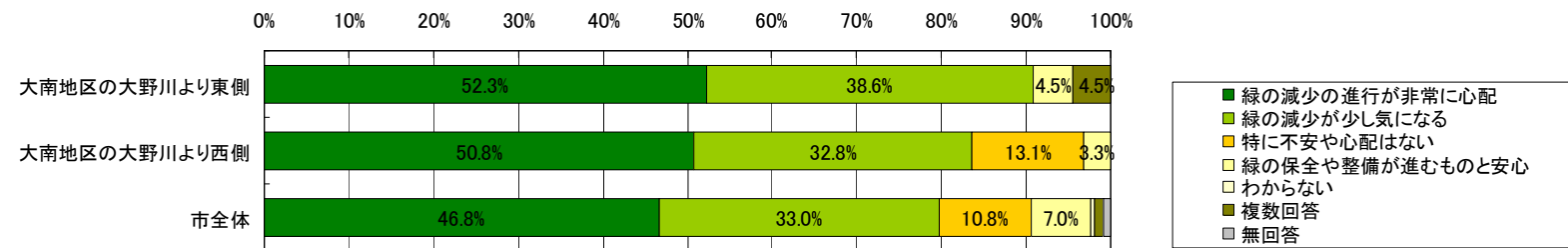


#### ■ 市民の緑に対する意識調査

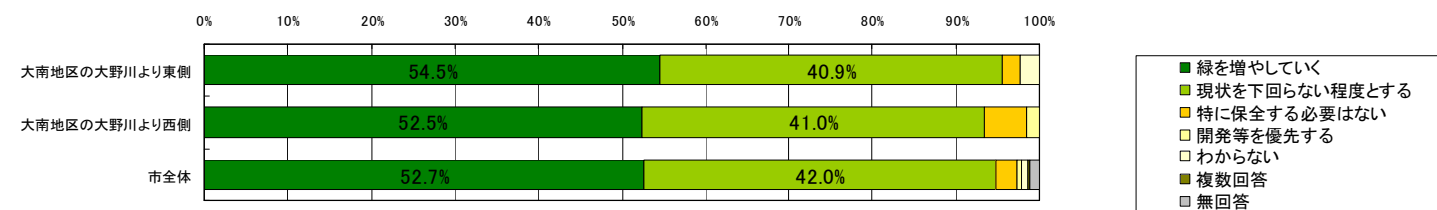
##### 【周りの緑について】



##### 【緑の将来について】



##### 【緑の保全について】





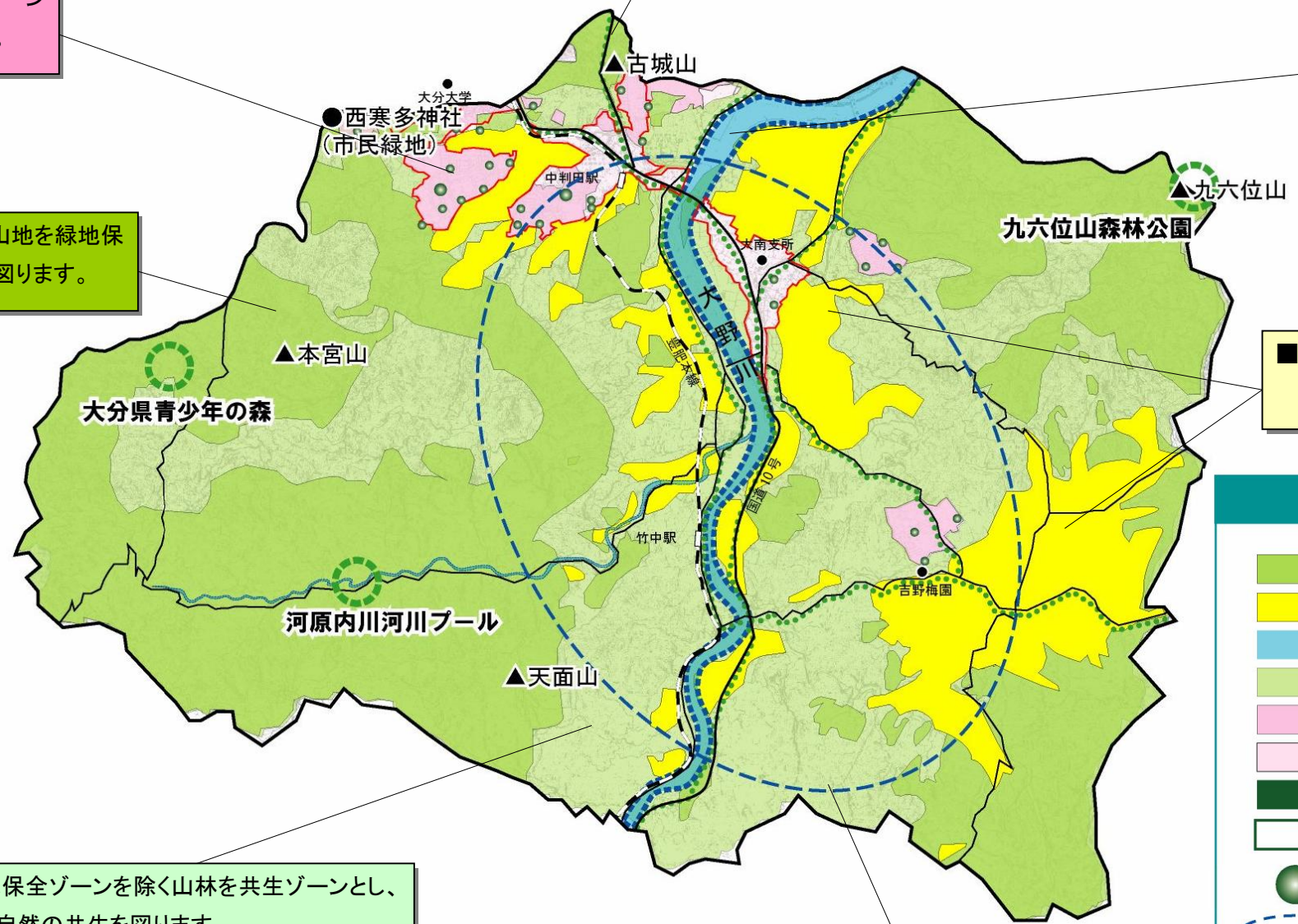
■ 街路樹等により幹線道路の緑化を図り、丘陵地の緑や河川と一体になった緑のネットワークを形成します。

■ 大規模住宅団地を緑化推進ゾーンと位置づけ、緑化を促進します。

■ 大野川の保全や河畔林の整備を図ります。

■ 本宮山、河原内地区の丘陵地、山地を緑地保全ゾーンとし、貴重な緑の保全を図ります。

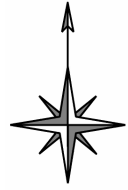
■ 大野川両岸に広がる農地を農地保全ゾーンと位置づけ保全を図ります。



■ 緑地保全ゾーンを除く山林を共生ゾーンとし、人と自然の共生を図ります。

■ 地区の核となる公園、緑地の配置の検討を行います。

凡 例	
	緑地保全ゾーン
	農地保全ゾーン
	河川
	共生ゾーン
	緑化推進ゾーン（住宅団地）
	緑化推進ゾーン（既成市街地）
	都市公園【整備済】（総合公園・緑地等）
	都市公園【未整備】（総合公園・緑地等）
	都市公園（街区公園・地区公園等）
	今後、核となる公園、緑地の配置を検討する区域
	山間部、中山間部における森林公園等の整備
	街路樹などの整備・充実
	河川沿いの緑化及び緑地保全
	市街化区域



## (4) 植田地区

### ■ 地区と緑の概況

- ・ 植田地区は大分市の西部に位置し、丘陵地や農地などの自然環境が豊かな地区ですが、大規模な住宅団地も多くみられます。また、近年、土地区画整理事業などが行われ市街地が拡大しています。
- ・ 地区の中央部を大分川とその支流である七瀬川が東西に流れており、また、南部には霊山を中心とする山地が位置しています。
- ・ 大分川、七瀬川は、様々な動植物が生息する自然環境があり、散策や自然観察の場となるなど良好な緑の空間となっています。

### ■ 地区の課題

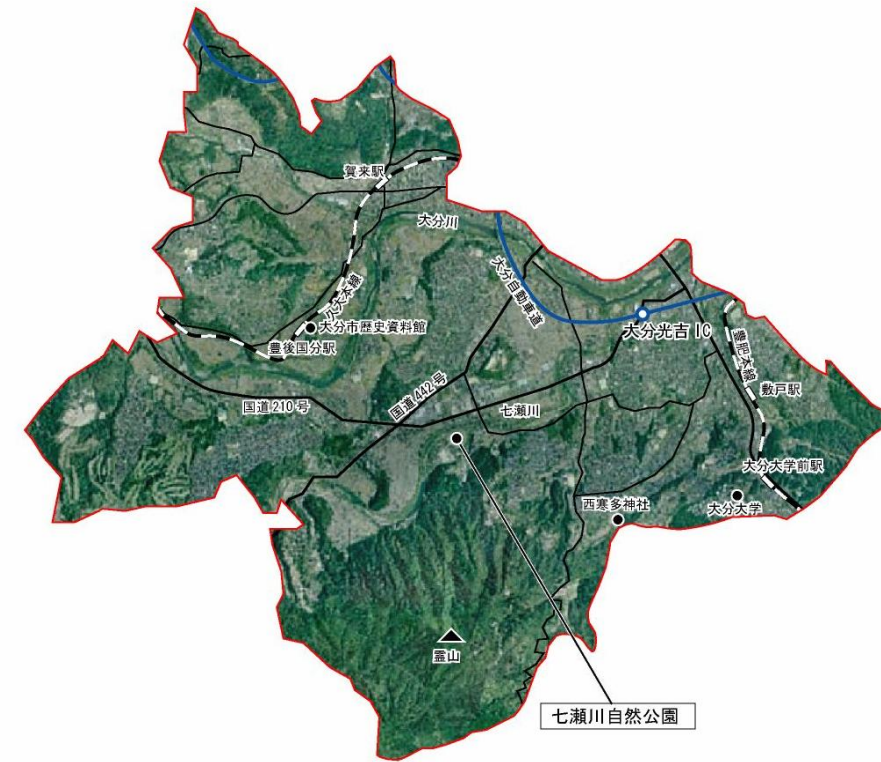
- ・ 近年、住宅開発や土地区画整理事業等、新たなまちづくりが多く行われており、既存の緑に対する影響が懸念されます。
- ・ 住宅団地などの周囲に残された斜面林など、環境や景観面で重要な緑の保全が必要です。

### ■ 緑地の保全

- ・ 貴重な動植物の生息が確認されている霊山周辺の山地の緑を守ります。
- ・ 大分川、七瀬川沿いに広がる優良な農地の緑を守ります。
- ・ 西寒多神社周辺の緑地については、今後も市民緑地として維持・管理を図ります。
- ・ 様々な生物の生息空間やレクリエーション機能、景観機能を持つ大分川、七瀬川の緑を守ります。

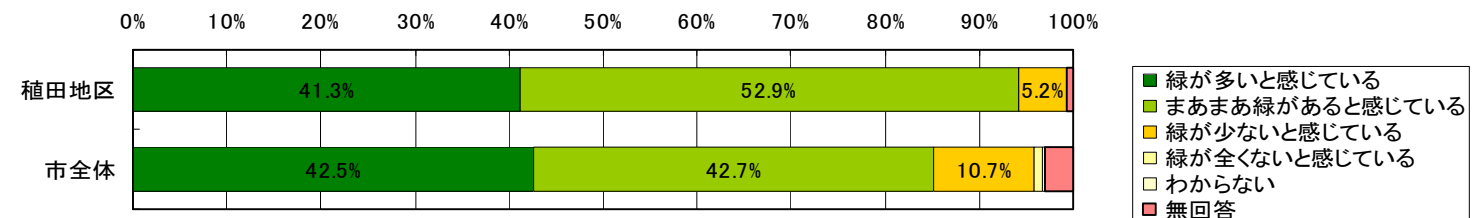
### ■ 緑化の推進

- ・ 市街地や住宅団地などの民有地については、生垣緑化や敷地内緑化を推進していきます。
- ・ 住宅団地や市街地については都市公園などの緑地を創ります。
- ・ 七瀬川自然公園を地区の核となる公園として、機能の拡充に努めます。
- ・ 大分川、七瀬川においては自然観察や憩いの場の整備、山と市街地をつなぐ緑地づくりを市民と協働で取り組みます。

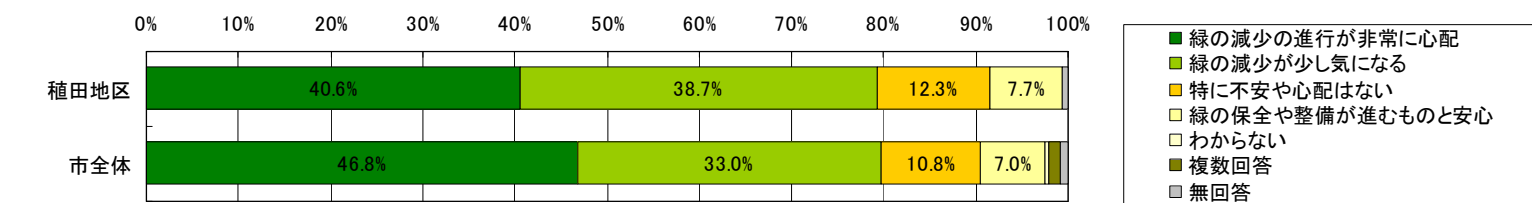


### ■ 市民の緑に対する意識調査

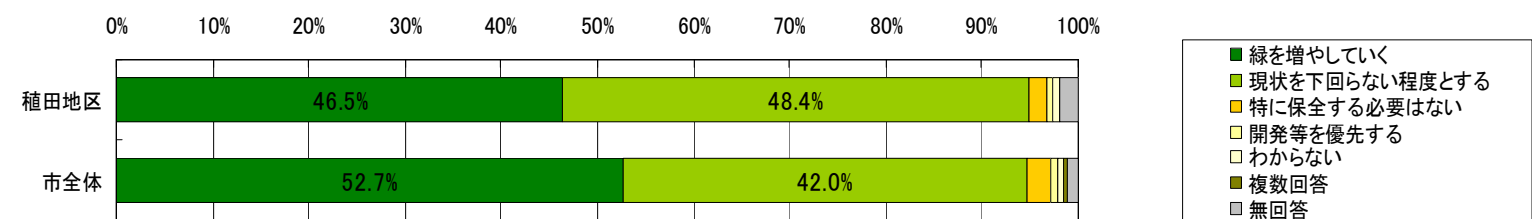
#### 【周りの緑について】



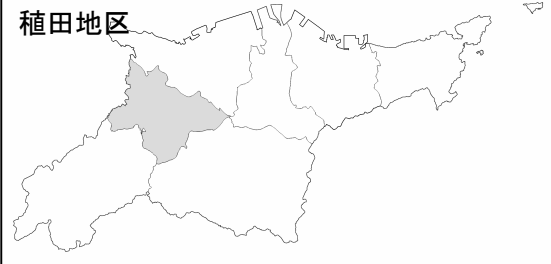
#### 【緑の将来について】



#### 【緑の保全について】







■ 大分川、七瀬川沿いに広がる農地を農地保全ゾーンと位置づけ保全を図ります。

■ 緑地保全ゾーンを除く山地や丘陵地を共生ゾーンとし人と自然の共生を図ります。

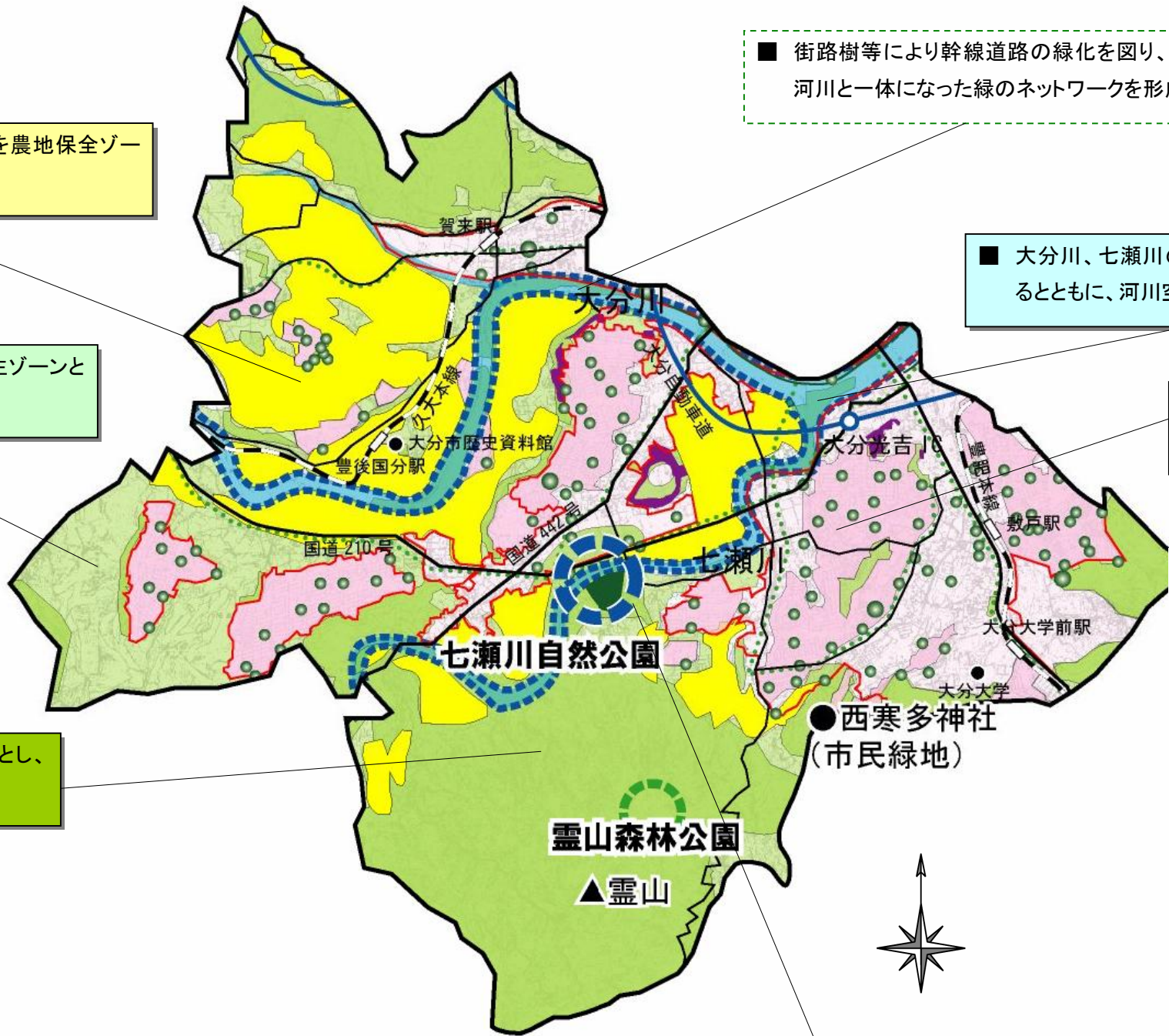
■ 霊山周辺の山地を緑地保全ゾーンとし、貴重な緑の保全を図ります。

■ 街路樹等により幹線道路の緑化を図り、丘陵地の緑や河川と一体になった緑のネットワークを形成します。

■ 大分川、七瀬川の保全や河畔林の整備を進めるとともに、河川空間の活用を図ります。

■ 大規模住宅団地を緑化推進ゾーンと位置づけ、緑化を促進します。

■ 七瀬川自然公園(水辺空間とのふれあい)を地区の核となる公園と位置づけ、公園機能の維持充実を図ります。



凡 例	
	緑地保全ゾーン
	郷土の緑保全地区
	農地保全ゾーン
	河川
	共生ゾーン
	緑化推進ゾーン(住宅団地)
	緑化推進ゾーン(既成市街地)
	都市公園【整備済】(総合公園・緑地等)
	都市公園【未整備】(総合公園・緑地等)
	都市公園(街区公園・地区公園等)
	地区の核となる公園
	山間部、中山間部における森林公園等の整備
	街路樹などの整備・充実
	河川沿いの緑化及び緑地保全
	市街化区域

## (5) 大在・坂ノ市地区

### ■ 地区と緑の概況

- ・ 大在、坂ノ市地区は大分市の北東部に位置し、臨海部には工場や海の玄関口としての臨海交流拠点があります。その内陸部には市街地が広がっています。また、丘陵地には大規模工場もみられます。
- ・ 臨海工場地と住宅地の間には緩衝緑地が整備されています。
- ・ 全体的には丘陵地や農地などの自然環境が豊かな地区となっています。

### ■ 地区の課題

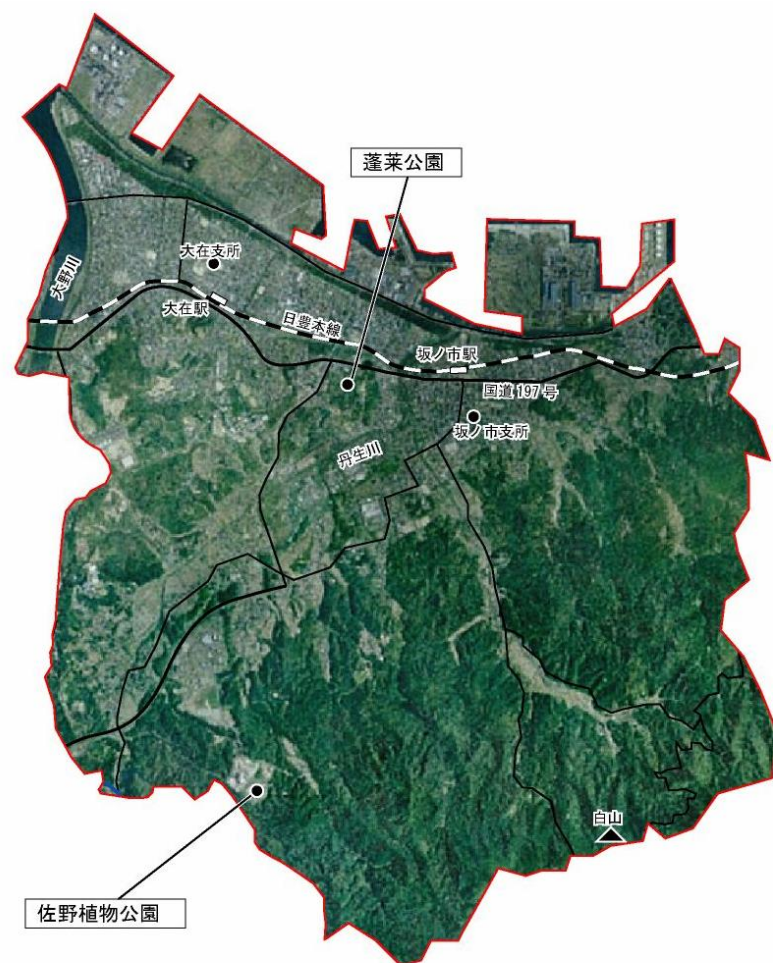
- ・ 臨海部に面した市街地ではヒートアイランド現象が確認されており、温暖化防止に向けた対策が必要となっています。
- ・ 市街地に隣接した丘陵地では、近年、住宅団地の開発や大規模工場の立地などが行われ、緑が少なくなっています。
- ・ 臨海部に面した地区（大在周辺）では、緑が多いと感じている人が、他地区に比べ少ない状況にあります。また、緑の減少が進むのではないかと心配する人が非常に多くみられます。

### ■ 緑地の保全

- ・ 貴重な動植物が確認されている白山周辺の山地の緑を守ります。
- ・ 丘陵地に沿って広がる農地の緑を守ります。
- ・ 市街地と保全ゾーンにはさまれた丘陵地については、緑を守り、人と自然の共生を図ります。
- ・ 市街地の環境を保全するため、緩衝緑地などの維持・管理に努めます。
- ・ 様々な水辺空間を持つ大野川の緑を守ります。

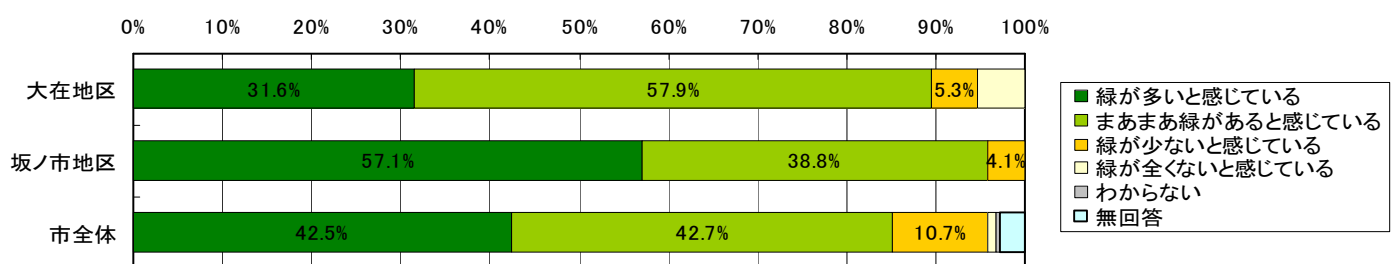
### ■ 緑化の推進

- ・ 市街地においては都市公園、街路樹など公共公益施設などの緑を創ります。
- ・ 市街地や住宅団地などの民有地については、生垣緑化や敷地内緑化を推進していきます。
- ・ 蓬莱公園、佐野植物公園を地区の核となる公園に位置づけ、機能拡充を図ります。

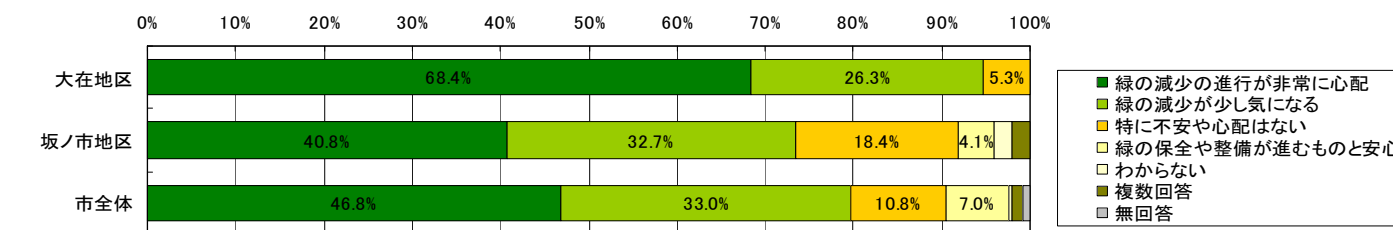


### ■ 市民の緑に対する意識調査

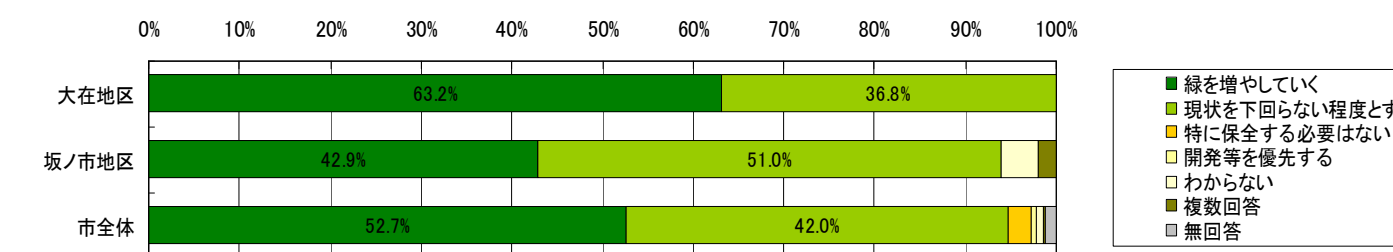
#### 【周りの緑について】



#### 【緑の将来について】



#### 【緑の保全について】



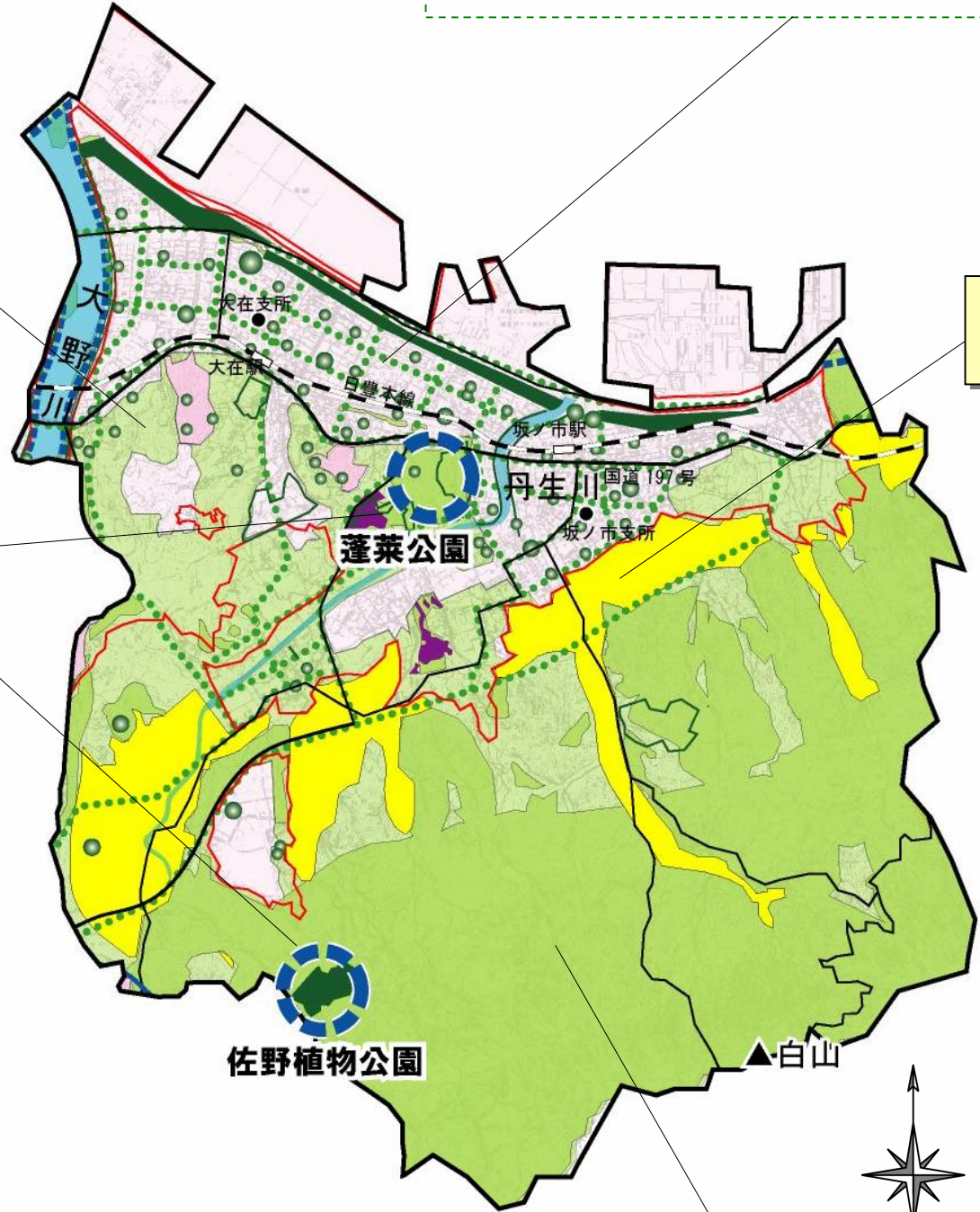


■ 街路樹等により幹線道路の緑化を図り、丘陵地の緑や河川と一体になった緑のネットワークを形成します。

■ 緑地保全ゾーンを除く山地や丘陵地を共生ゾーンとし、人と自然の共生を図ります。

■ 丘陵地に沿って広がる農地を農地保全ゾーンと位置づけ保全を図ります。

■ 蓬萊公園(歴史とのふれあい)、佐野植物公園を地区の核となる公園と位置づけ、公園機能の維持充実を図ります。



■ 丘陵地、地区南部の山地を緑地保全ゾーンとし、貴重な緑の保全を図ります。

凡 例	
	緑地保全ゾーン
	郷土の緑保全地区
	農地保全ゾーン
	河川
	共生ゾーン
	緑化推進ゾーン(住宅団地)
	緑化推進ゾーン(既成市街地)
	都市公園【整備済】(総合公園・緑地等)
	都市公園【未整備】(総合公園・緑地等)
	都市公園(街区公園・地区公園等)
	地区の核となる公園
	街路樹などの整備・充実
	河川沿いの緑化及び緑地保全
	市街化区域

## (6) 佐賀関地区

### ■ 地区と緑の概況

- ・ 佐賀関地区は大分市の北東部に位置し、地区の大半が山林などで占められており、東部の佐賀関港周辺では自然の地形を活かした良港や大規模工場地、住宅地などの市街地が広がり、西部にも市街地が広がっています。
- ・ 地区東端の高島は瀬戸内海国立公園内にあり、ウミネコの営巣地として県の天然記念物に指定されています。
- ・ 地区東南側の海岸一帯は日豊海岸国定公園内の北側に位置しています。

### ■ 地区の課題

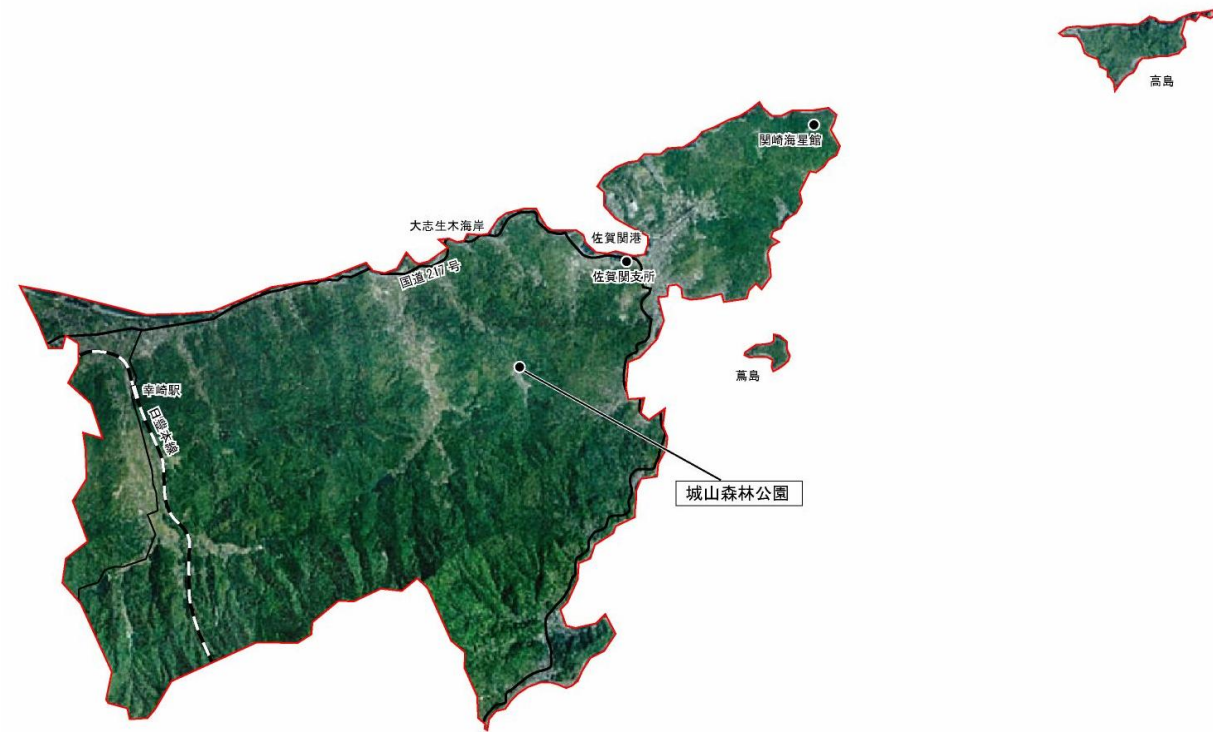
- ・ 貴重な動植物が生息する山地や日豊海岸国定公園など、重要な緑地が広範囲にわたって分布しており、その保全が必要です。

### ■ 緑の保全及び方向性

- ・ 日豊海岸国定公園や高島の瀬戸内海国立公園などの自然をはじめ、その他貴重な動植物が確認されている地区内の山林や丘陵地の緑を守ります。
- ・ 共生ゾーンの山地や丘陵地については、緑を守り、人と自然の共生を図ります。
- ・

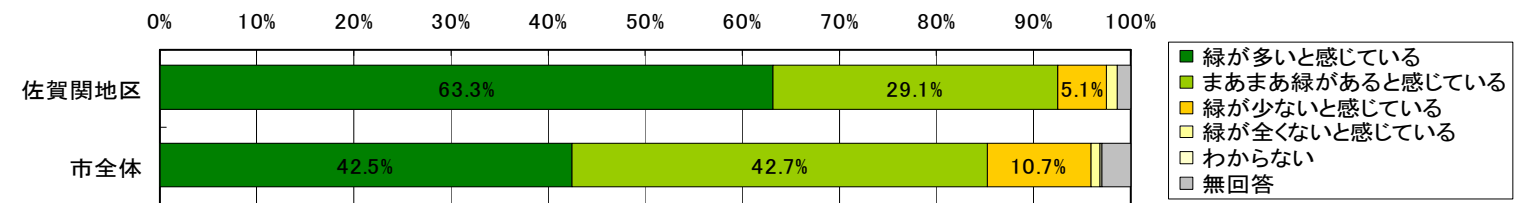
### ■ 緑化の推進

- ・ 都市計画区域内の市街地においては、都市公園、街路樹などの緑を創ります。
- ・ 地区内に核となる公園・緑地がないことから、新たな公園・緑地の整備検討をします。
- ・ 地区内の民有地において生垣緑化やプランターなどによる花の植栽など緑化の推進を行います。

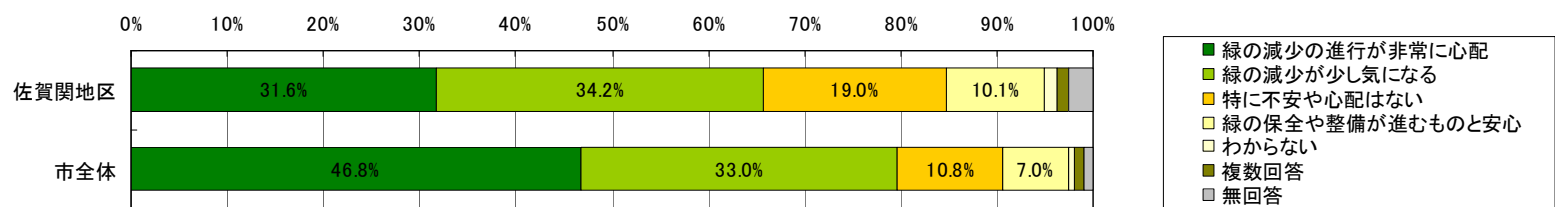


### ■ 市民の緑に対する意識調査

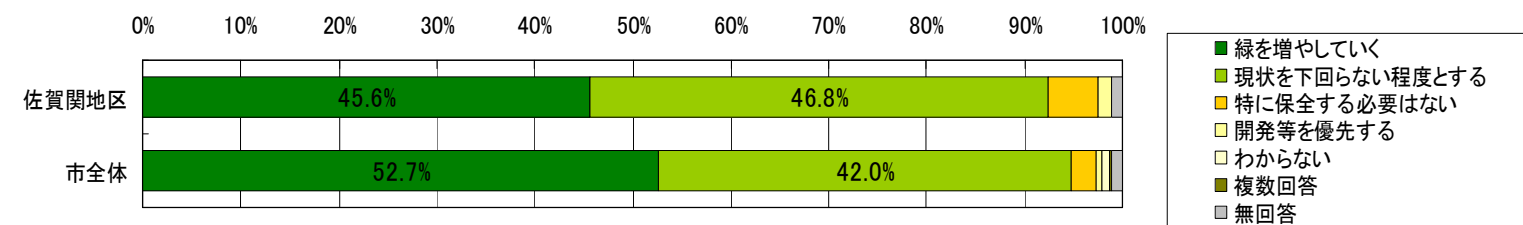
#### 【周りの緑について】

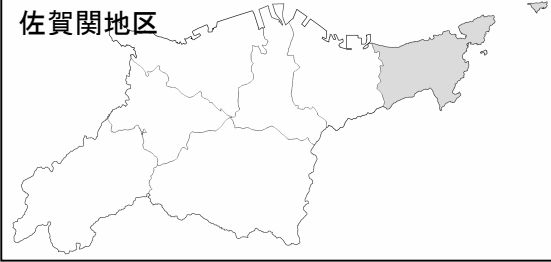


#### 【緑の将来について】



#### 【緑の保全について】



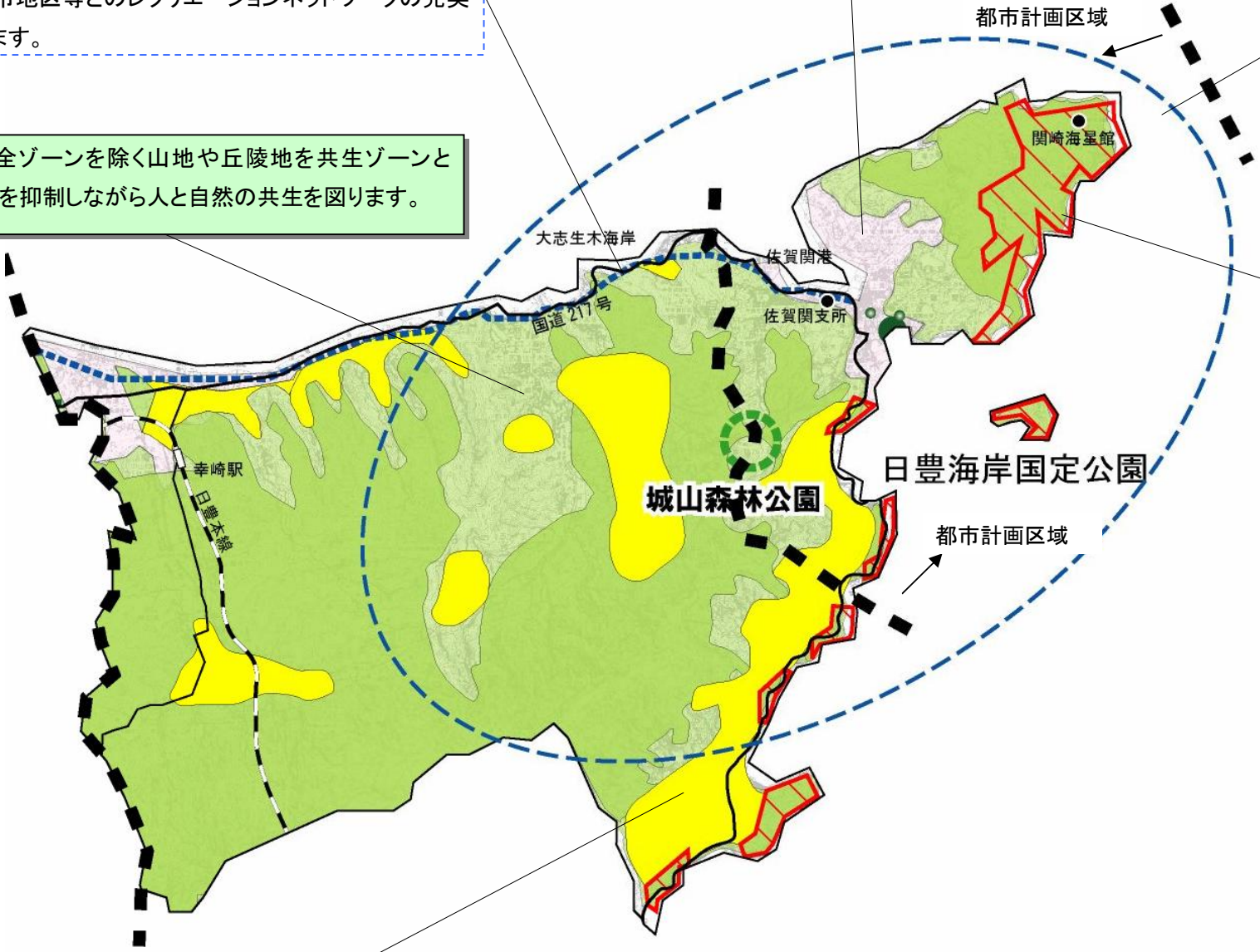


■ 市街地においては敷地内の緑化、幹線道路等の緑化に努めます。

■ 地区の拠点となる公園、緑地の配置の検討を行います。

■ 軽便鉄道跡を活用したサイクリングロード等の整備により、坂ノ市地区等とのレクリエーションネットワークの充実に努めます。

■ 緑地保全ゾーンを除く山地や丘陵地を共生ゾーンとし、開発を抑制しながら人と自然の共生を図ります。



■ 日豊海岸国立公園や瀬戸内海国立公園に指定されている山地をはじめ、地区の山地を緑地保全ゾーンとし、貴重な緑の保全に努めます。

■ 山林と一体になって分布する農地を農地保全ゾーンと位置づけ保全を図ります。

凡 例	
	自然公園
	緑地保全ゾーン
	郷土の緑保全地区
	農地保全ゾーン
	共生ゾーン
	緑化推進ゾーン（住宅団地）
	緑化推進ゾーン（既成市街地）
	都市公園【整備済】（総合公園・緑地等）
	都市公園【未整備】（総合公園・緑地等）
	都市公園（街区公園・地区公園等）
	今後、核となる公園、緑地の配置を検討する区域
	山間部、中山間部における森林公園等の整備



## (7) 野津原地区

### ■ 地区と緑の概況

- ・ 野津原地区は大分市の西南部に位置し、七瀬川が東西に流れ、山林や農地などの自然的土地利用が大半を占めています。
- ・ 地区南部には県民の森（平成森林公園）が整備されています。
- ・ 農地は景観的にも特徴のある棚田がみられます。
- ・ 地区中央を流れる七瀬川の上流域においては（仮称）大分川ダム建設が進んでいます。

### ■ 地区の課題

- ・ 貴重な動植物が生息する山林や神角寺芹川県立自然公園など、重要な緑地が広範囲にわたって分布しており、その保全が必要です。
- ・ 棚田をはじめ、優良な農地の保全が必要です。
- ・ レクリエーション、防災等、地区の核となる公園や緑地などがなく、今後、整備に向けた検討が必要となっています。

### ■ 緑地の保全の方向性

- ・ 神角寺芹川県立自然公園や貴重な動植物が確認されている山地の緑を守ります。
- ・ 共生ゾーンの山地や丘陵地については、緑を守り、人と自然の共生を図ります。
- ・ 棚田など特徴ある農地や景観などの緑を守ります。
- ・ 七瀬川の保全と河畔林の整備を進めます。

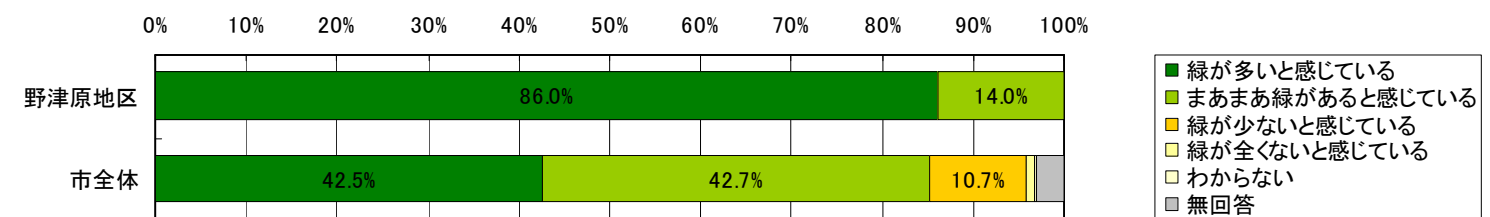
### ■ 緑化の推進

- ・ 地区内に核となる公園・緑地がないことから、新たな公園・緑地の整備検討をします。
- ・ 地区内の民有地においては、生垣緑化やプランターなどによる花の植栽など緑化の推進を行います。
- ・ 様々な生物の生息空間やレクリエーション機能、景観機能を持つ七瀬川の緑を守ります。

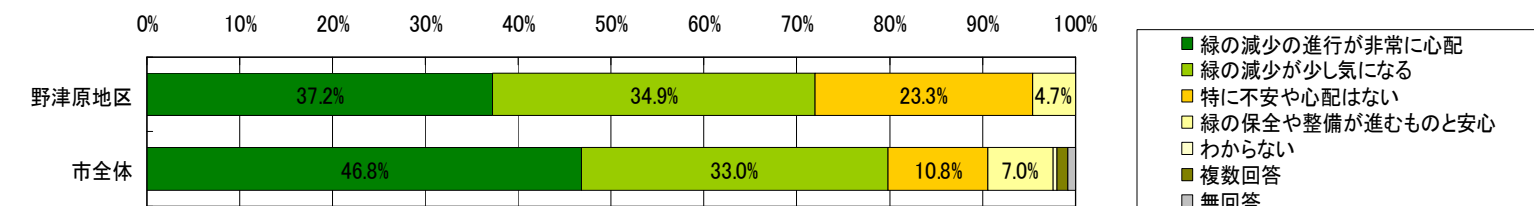


### ■ 市民の緑に対する意識調査

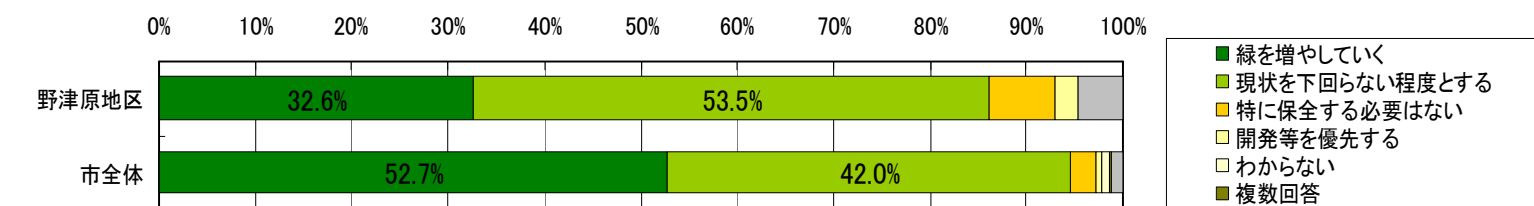
#### 【周りの緑について】

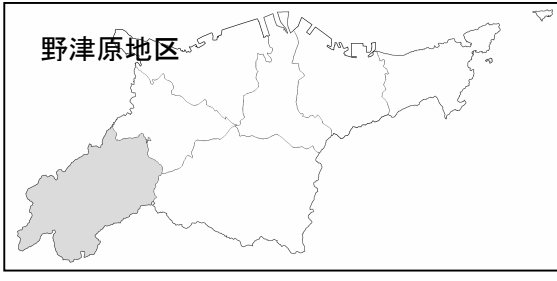


#### 【緑の将来について】



#### 【緑の保全について】





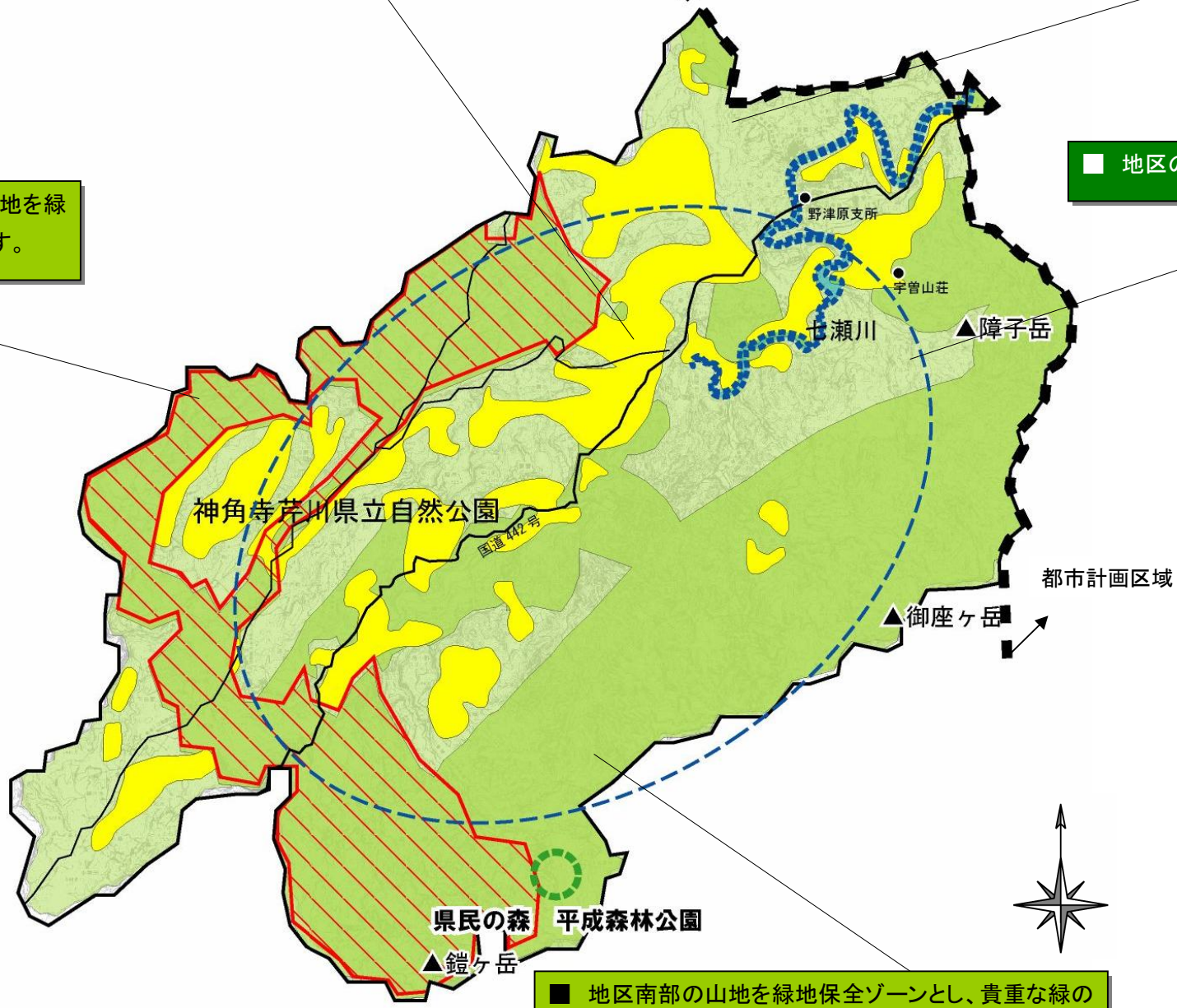
■ 神角寺芹川県立自然公園など、北部の丘陵地を緑地保全ゾーンとし、貴重な緑の保全に努めます。

■ 丘陵地と一体になって広がる棚田などの農地を農地保全ゾーンと位置づけ保全を図ります。

■ 緑地保全ゾーンを除く山地や丘陵地を共生ゾーンとし、人と自然の共生を図ります。

■ 地区の核となる公園、緑地の配置の検討を行います。

■ 地区南部の山地を緑地保全ゾーンとし、貴重な緑の保全に努めます。



凡 例	
	自然公園
	緑地保全ゾーン
	郷土の緑保全地区
	農地保全ゾーン
	共生ゾーン
	緑化推進ゾーン（住宅団地）
	緑化推進ゾーン（既成市街地）
	都市公園【整備済】（総合公園・緑地等）
	都市公園【未整備】（総合公園・緑地等）
	都市公園（街区公園・地区公園等）
	今後、核となる公園、緑地の配置を検討する区域
	山間部、中山間部における森林公園等の整備